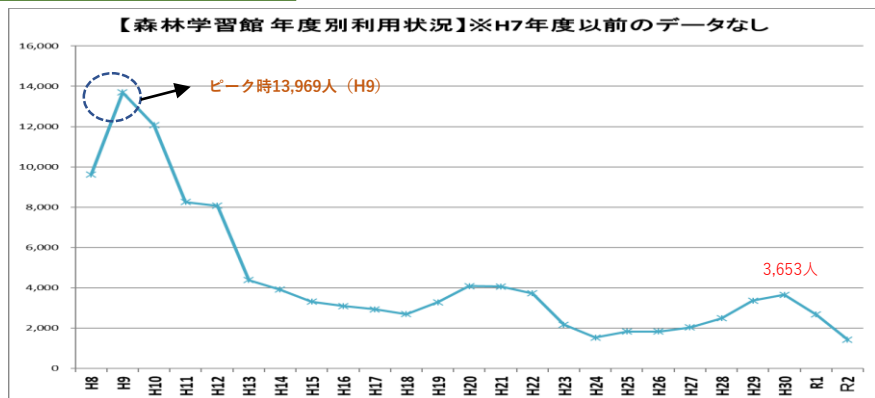


金峰山少年自然の家の再建に伴う森林学習館の機能統合について

1. 施設概要

施設名及び所在	熊本市森林学習館（熊本市北区貢町小萩）
建物概要	延床面積452.36㎡（学習館303.67㎡・展示館148.69㎡）
建設年	昭和60年3月～昭和62年3月
事業費	48,573千円
条例	熊本市森林学習館条例
耐用年数	学習館・木造建築24年（平成22年度） 展示館・一部鉄筋34年（平成31年度）
設置目的	市民が森林とのふれあいを通じて、緑化及び自然保護に対する意識の高揚を図るための学習及び活動の場
指定管理者	森林学習館管理運営共同企業体 （株）パブリックビジネスジャパン・（株）健康舎
指定管理期間	令和2年度～令和4年度
指定管理料	年額4,099千円

2. 利用者数の推移



利用者の居住区	%
中央区	28.7%
東区	11.3%
西区	20.9%
南区	6.0%
北区	28.6%
市外（熊本県内）	4.5%

（H29～R2平均）



3. 施設の老朽化と「新自然の家」への機能統合

（施設の老朽化）

- 建設から34年を迎え耐用年数を超過している。また、平成27年から井戸水のくみ上げができなくなっており、受水槽への給水で対応している。
- 今後も老朽化の進展に伴い、小規模修繕（年間20万円までは指定管理料を含む）に加え、大規模な修繕による経費負担が増大する可能性が高い。
- このようなことから、「熊本市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づく資産総量の適正化の観点から、施設のあり方について庁内での検討を行ってきた。

（金峰山少年自然の家への機能統合）

- このような中、このほど教育委員会において、施設の不具合により受入を中止している金峰山少年自然の家の再建に伴う「新自然の家整備基本計画」が策定されたところ（本議会の教育市民委員会に報告）。
- 「新自然の家」は、小学生のみならず、子どもから大人まで幅広い年代が利用できる施設となる予定であり、この整備に合わせ、現在の森林学習機能（下記）の統合を図ることとする。
- なお、この統合に伴い、現存する森林学習館の施設は廃止する。

【「新自然の家」に統合する、現在の森林学習館の機能】

- 林業に関する展示及び学習
- 木工体験や防災キャンプなどの体験学習プログラム
- 伝承遊びなどの木育や「ネイチャーゲーム」など自然との遊び方の学習
- 施設周辺の自然環境や生物多様性などの自然保護についての学習
- ワークショップやフィールドワークによる森林学習

4. 今後のスケジュール（予定）

